

■高浜虚子 俳人。{ホトトギス}を創刊、子規の俳句運動を主導の一方、漱石をはじめ多くの作家を世に出した。

たかはまきよし

佐賀の乱・1874= 松山市で、旧松山藩士の剣術師範の子に生まれ、のち祖母の家を継いで高浜姓となる。

明治14年政変1881= 7歳：

岩倉具視没・1883= 9歳：

松山第一中学校に入学したが、廃校となり、

初の対等条約1888=14歳：伊予尋常中学校に転学。

帝国憲法発布1889=15歳：

足尾鉍毒始・1891=17歳：父が死去。\_同級生の河東碧梧桐を介して正岡子規を知り師事、(本名清をもじった)虚子の号を贈られる。

大本教・・・1892=18歳：中学校を卒業。三高に入学。

日清戦争始・1894=20歳：学制改革のため三高に移され、退学。\*上京して、碧梧桐とともに病床の子規の周辺にいて俳句運動を助ける。両者は俳壇の双壁として、各誌に次々と発表、

日清戦争終・1895=22歳：子規に後継者になるよう求められるが、辞退。

八幡製鉄始・1897=23歳：結婚。\_松山で{ホトトギス}創刊。

子規句歌革新1898=24歳：万朝報に入社するが、長期欠勤で除籍。母が死去。\*{ホトトギス}を東京に移し、発行人となり、子規の俳句運動の場を新聞{日本}と両輪にし、また、文章にも力を注ぎ、「浅草寺のくさぐさ」、

Bushidou・・・1899=25歳：「半日あるき」など写生を生かした文章表現を開拓した。

ピアノ国産化・1900=26歳：長男誕生。

田中正造直訴1901=27歳：

教科書疑獄・1902=28歳：子規が死去。

日比谷公園・1903=29歳：次女誕生。「写生文集」刊行。\_碧梧桐と論争。

日露戦争始・1904=30歳：子規が否定した連句の復興を考え、夏目漱石、坂本四方太と試みる。漱石とは俳体詩の試みももち(「尼」

、彼のノイローゼを救うとともに、小説家漱石を生み出す契機となる。

日露戦争終・1905=31歳：漱石の「吾輩は猫である」を{ホトトギス}に連載するとともに、みずからも小説家を志し、

韓国反日暴動1907=33歳：「風流鑑法」「斑鳩物語」「大内旅宿」、

アヲヲ創刊・1908=34歳：「鶏頭」刊行。国民新聞社に入社、芸芸部を創設して部長になる。「俳諧師」その他の\_作品を発表。

韓国併合・・・1910=36歳：国民新聞社を退社し、\_ {ホトトギス}編集に専念。

明治天皇没・1912=38歳：\_ {ホトトギス}の誌面を提供することで、多くの文人を世に出した。

\*俳壇に復帰し、守旧派と称して十七字を守り、季題の情緒を守る俳句を置き、

第一次大戦始1914=40歳：「俳句とはどんなものか」「杏の落ちる音」刊行。

この間、連載や選句を続ける。

民本主義・・・1916=42歳：「子規句集講義」刊行。漱石が死去。

本格政党内閣1918=44歳：「漱石氏と私」「俳句は斯く解し斯く味ふ」「進むべき俳句の道」刊行。

べルリン条約・1919=45歳：この間、育成者としても、\_多くの俊秀を育てる。

原敬首相暗殺1921=47歳：

水平社結成・1922=48歳：「ホトトギス雑詠選集」刊行。

関東大震災・1923=49歳：関東大震災で自宅が罹災。

\_事物の状態を描写することに徹する客観写生を強調、同時に「花紅柳緑」の境地に至りつくことを目指し、

共産党事件・1928=54歳：「虚子選雑詠選集」刊行。\_「花鳥諷詠」論を提唱、俳句は日本独自の文学で、しかも小説、戯曲とは違う素材、内面をうたう文学であり、天然を写生する文学であると規定、この信条を生涯守る。

満州事変・・・1931=57歳：「ホトトギス雑詠全集」刊行。

五一五事件・1932=58歳：次女に句誌{玉藻}を創刊・主宰させる。

国際連盟脱退1933=59歳：「俳諧歳時記」刊行。

帝人疑獄事件1934=60歳：「高浜虚子全集」「新歳時記」刊行。

二二六事件・1936=62歳：渡欧し、講演やハイカイ詩人たちと懇談して帰国。「渡仏日記」刊行。

日中戦争始・1937=63歳：\_自選句集「五百句」刊行。帝国芸術院会員になる。

大政翼賛会・1940=66歳：「年代順虚子俳句全集」「季寄せ」刊行。\_日本俳句作家協会会長になる。

日米開戦・・・1941=67歳：虚子選「子規句集」刊行。

・・・1942=68歳：\_日本文学報国会俳句部長となる。

創価学会検挙1943=69歳：「正岡子規」「五百五十句」刊行。

この間、戦局の進展で{ホトトギス}の休刊や小諸へ疎開を余儀なくされ、他方、森田愛子と恋愛。

敗戦・・・1945=71歳：

新憲法公布・1946=72歳：「小諸雑記」「贈答句集」「小諸百句」刊行。

新憲法施行・1947=73歳：「六百句」「父を恋ふ」「虹」刊行。

極東裁判決・1948=74歳：「定本虚子全集」刊行開始。「虚子自伝」刊行。

独立回復・・・1951=77歳：「椿子物語」「虚子自選句集」刊行。この頃から次女の主宰する{玉藻}に力を注ぐ。

メデー事件・1952=78歳：「虚子秀句」刊行。

TV放送始・・・1953=79歳：「子規について」刊行。

自衛隊発足・1954=80歳：\_文化勲章。

55年体制始・1955=81歳：「朝日俳壇」の選者。「六百五十句」、岩波新書「俳句への道」刊行。

国連加盟・・・1956=82歳：岩波文庫「虚子句集」刊行。

イヌカソマン・1958=83歳：「虚子俳話」「虚子百句」刊行。

美智子妃・・・1959=85歳：脳溢血で、\_没した。

新潮日本文学アルバム、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、「目でみる日本人物百科」、